

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット
「職業を通じて広げる絆」
"Expanding Relations
Through Business"
2018-2019年度
東京臨海ロータリークラブ会長
本多 信雄



国際ロータリーテーマ 2018年12月12日【第1122回】
「インスピレーションになろう」
"BE THE INSPIRATION"
2018-2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 本 多 信 雄
副 会 長 : 佐 藤 正 樹
幹 事 : 佐 藤 大 輔
会報委員長 : 井 上 晴 貴

12月12日の卓話

「忘年家族会」

12月5日の出席率

会員在籍者数 38名
会員出席者数 25名
会員欠席者数 13名
本日の出席率 65.79%
前々回訂正出席率 80.00%

12月19日の卓話

「近況報告」
米山中国学友会初代会長
東京米山ロータリークラブ 2750 会員
姫 軍 様

《第1121回例会報告 2018年12月5日》

司会：井上会員

- 点鐘：本多会長
- 国歌斉唱「君が代」
：ソングリーダー 杉浦 SAA 委員長
- ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」
東京臨海 RCVer. 唱和：佐藤正樹副会長



- 来賓紹介：本多会長
ゲストスピーカー 坂本康朋様（当クラブ会員）
- ビジター紹介：舛本会員
本日は、いらっしやいませでした。
- 12月のお祝い：親睦委員会 佐久間裕章委員長
 - ・ 会員誕生日 佐藤正樹会員、榎本隆文会員、小松啓祐会員、須藤宗之助会員、西野充英会員、坂本秀夫会員
 - ・ 奥様誕生日 大西洋平会員夫人、佐藤正樹会員夫人、榎本隆文会員夫人
 - ・ 結婚記念日 坂本康朋会員、飯塚憲貴会員、舛本俊輔会員
 - ・ 出席 100% 11年：入澤昭彦会員
 - ・ 「誕生日の歌」：ソングリーダー：佐久間親睦委員長
 - ・ 1分間スピーチ：小松会員：12/16をもって32歳に

なります。あと11日をもって何を活動していこうか考えています。師走ですので年末の締めに向けて、仕事もプライベートも頑張っていきます。

- 会長報告：本多会長
 - ・ 第1回クラブ基金功労者感謝状を酒井教吉会員に贈呈致します。
 - ・ 一般財団法人比国育英会バギオ基金2017年度事業報告書が届きました。
 - ・ 年次総会を12月19日（水）例会後13:35~13:50開催致します。会員皆様の出席をお願い致します。



- 幹事報告：佐藤大輔幹事
 - ・ 次週12月12日（水）は、忘年家族会ですので、お昼の例会はございません。
 - ・ ロータリーの友12月号を先週会員皆様のメールボックスにお入れしました。
 - ・ 地区大会は、来年2月20日・21日ホテルニューオータニで開催されます。会員皆様にご案内を送付しておりますので、登録内容を本日までにお知らせ下さい。
 - ・ 東京ベイ RC オープン例会は、2019年1月24日（木）

12:30~13:45 ロイヤルパークホテルにて、卓話者に米良美様をお迎えし、お話や歌をお聞きするそうです。オープン例会としてご案内を頂いております。会員皆様にメール転送しておりますので、出席希望の方は、直接、東京ベイ RC にお申込下さい。東分区席は、先着 20 名様までとのことです。

- ・12 月度定例理事役員会を本日例会後、3 階「菊の間」にて開催致します。
- ・地区拡大増強セミナー（12 月 3 日（月））出席報告。



■委員会報告

- ・親睦活動委員会（佐久間裕章委員長）

①新入会員大歓迎会を 12 月 10 日（月）18:30 より千代田にて開催致します。出席のご連絡を頂いている皆様は、ご参集下さるようお願い致します。また、新会員の皆様は、17:25 よりオリエンテーションを行いますので、時間までにお集まり下さるようお願い致します。

②忘年家族会は、次週 12 月 12 日（水）18:00 より、東武ホテルレバント東京にて開催致します。

- 出席状況報告：勝間田会員

⇒詳細 1 頁バナー下に掲載。

- ニコニコ BOX 報告：小松会員

（ご意向）本日、卓話をさせていただきます。：坂本康朋会員

（ご意向）坂本康朋会員、本日の卓話を楽しみにしています。：本多会長、佐藤正樹副会長、佐藤大輔幹事、須藤会員、井上会員、入澤会員、田村会員、小松会員、勝間田会員、齊藤会員、栗山会員、杉浦会員、山田会員、酒井会員、高橋会員、佐久間栄一会員、笹本会員、大澤会員、中村会員

（ご意向）家庭集会では、ありがとうございました。

：地引会員

【21 件 58,000 円 累計 1,009,241 円】

- 卓話（紹介者：佐藤大輔幹事）

「運送業について」

みのり運輸(株) 代表取締役 坂本 康朋様

（当クラブ会員）

・グループ会社 5 社を運営しています。年商で 13 億くらいの会社です。

・トラック業界は深刻な人手不足です。背景には、荷物の小口化が進んでいます。インターネットの普及で加速しています。物流業界の需要は上がっております。平成 29 年度の全国の取り扱い荷物が、4521 万個だった。

・ドライバーの高齢化が進んでいます。40 歳以上のドライバーが 45% を占めています。有効求人倍率は全産業の中でも 1.8 倍となっている運送業であります。

・就職活動の学生のイメージは、運送業はマイナスイメージです。多業種に比べて労働時間が長い現状です。大型トラック、バスの労働時間が長いです。全産業の中で 1.2 倍となっています。同じく残業は 1.5~2 倍近くあります。ドライバー業は、その他職種の 3 倍の残業となっており、法規制の対象となっています。

・特別な事情なくとも時間外は 720 時間/年以内となりました。

・オリンピックにより、建設資材の運搬が大変多くなってきています。予測では 2020 年までに 81 万 8 千人のドライバーが必要とされている。2020 年までに必要なトラックドライバーは 92 万 4 千人必要。ドライバーは 10 万 6 千人不足と言われている。

・外国人労働者についてです。就労可能なビザの問題ですが、永住権、定住権を持っている人しか働けない現状です。グループ会社のみのもりサービスという会社では、工場を営んでいます。技能実習生として 3~5 年の外国人を雇用して、技能を教えて国に帰っていただくことをしています。ドライバーとしてはその制度を使えない。ドライバーとして雇用するのは、永住権、定住権を持っている人のみの雇用となる。外国人労働者の推移は、4 年前から比べて 1.6 倍の増加となっています。



・外国人が働きたいのに、働けない整備状況となっている日本です。その為に外国人を敬遠する風潮にあります。大手のゼネコンは外国人も入ってきているので、当社としても外国人が活躍できる環境を推し進めたい。社内の環境も受け入れ態勢を整えてきました。SNS の整備、ホームページの整備、外国語での表記などを行っています。外国人もドライバーに対しての仕事を理解してくれたこともあり、その友人を紹介してくれたりしています。英語が話せるスタッフもいるので、円滑にコミュニケーションを取るよう心がけています。

新人研修は、外国人の先輩に同乗してもらい、実習をしています。

- ・配送が多くなってきており、残業をしなければならない現状となっています。法規制も追いついていけなく、経済の損失につながるようになっていっています。外国人労働も考えていき、運営していくことが大切です。

- ・外国人労働者を活用して、インフラ整備して、働きやすい環境の構築、求人方法の確立、入社後のサポート体制、給与構築＝日本人同等に整備。

- ・先日 TBS のニュース番組に出演いたしました。外国人ドライバーが 6⇒12 名になりました。多国籍となっています。日本で働きたい人が沢山いるが、働けない現状がある。日本では、過酷労働低賃金で働いている外国人が沢山います。日本人よりもまじめではないかと感じる。その為に契約に関しては凄く真剣です。その方たちが運送業で活躍していただけるようにしていきたいです。

- ・ロータリーでは、沢山の職種があります。その為に社会奉仕、職業奉仕が沢山出来るのではないかと思います。臨海ロータリーでは、職業を通じて広げる絆とありますので、しっかりと考えていきたいです。

- ・みのり運輸では 100 人の職員とトラックが 90 台ほどあります。食品の冷凍冷蔵を運んでいる会社では、職員が 90 名でトラックが 80 台です。

本多会長：総評

- ・建設資材を運ぶ運送会社が私と坂本会員のところで。大きい会社は 350 台のクレーン平ボディがあります。いい経営者の真似をすることで、会社の規模も反映していきます。大きな会社でなければ、賃金交渉が出来ません。働いているスタッフにどう還元していくか。配車システムも考えていかなければなりません。様々な会社と隙間を埋めあって仕事をしていくことが大切です。ドライバーで外国人を雇用することが大切になっていきます。外国人を雇用する時、日本語が読めないことがネックです。どう仕事を簡素化して考えていく世の中にしていくことが重要。求人の方や作業の定着が大切です。

■点鐘：本多会長

ロータリーをもっと知ろう

東京城東ロータリークラブさんの週報でいいものを見つけました。(第 2445 回例会週報)

- ・青少年犯罪の悪循環を断ち切るための都市平和プロジェクト、PACT プログラムにロータリークラブが協力しています。(以下 記事)

⇒自分は刑務所に行く。犯罪まみれの人生から抜け出すには、それしかない。

アキーム・スティーブンソンさんは、人生をどうにか変えたいと必死でした。

カナダ・トロント在住の彼は、10 年以上さかのぼる 10 代のある日、加重強盗の容疑で逮捕されました。4 度目の逮捕で、刑務所送りになるところでした。

しかし裁判官は、彼の中にまだ更生の望みがあると

判断し、18 カ月間の青少年プログラムに参加するか、6 カ月間の刑期を務めるかの選択肢を与えました。

スティーブンソンさんは、PACT への参加を選択。これが彼の人生を変え、音楽の道を開きました。

参加 (Participation)、**容認** (Acknowledgement)、**誓い** (Commitment)、**変容** (Transformation) の頭文字をとった **PACT** は、トロントに拠点を置く慈善事業で、問題児や犯罪歴のある青少年の更生をサポートしています。起業家で地元ロータリアンであるデイビッド・ロケットさんが 20 年以上も前に共同設立し、現在ではロータリークラブからの支援を受けています。



このプログラムでは、貧困と犯罪行為の悪循環を断ち切ることを目的としています。参加者が何を必要としているかを突き止め、「人生が前向きな方向に進むように手伝い、自分の生活だけではなく、地域社会も豊かなものにできるようにする」戦略を立てることが目標だと、ソーシャルイノベーターズ・ロータリーE クラブ会員であるロケットさんは言います。

PACT は都市部の地域社会に平和をもたらす、とロケットさん。「暴力と犯罪行為の影響に目を向けて、問題がどう起こるのか理解し、問題児を早い段階で支援する非常に効果的な解決策を生み出すのが PACT です。問題児を助けたければ、彼らのシンプルなニーズを理解しなければならない。とても単純なこと」と話します。

過ちを犯す青少年の多くは懲役刑に服することになる、

とロケットさん。しかし、親に見捨てられ、「悲惨な人生を送ってきた」人にとって、PACT はさらなる犯罪を阻止し、人生を変えるきっかけとなります。

PACT は裁判所と連携して、効果が得られそうな 12～19 歳のプログラム対象者を特定。青少年に有罪判決が下されると、裁判所は保護観察処分として彼らを PACT に紹介します。



PACT がこれほどの成功を収めてきた秘訣は、**ライフプラン・コーチング・プログラム**（英語サイト）にあります。参加者一人ひとりにライフコーチの担当者がつく強力な介入プログラムです。12～18 カ月間にわたって毎週話し合いを重ね、教育、就職、健康、人間関係、地域社会への貢献、再犯防止の 6 つの主要分野で目標を設定します。ライフコーチングは、ライフコーチとの会話を通じて人生の骨組みと容認を与え、能力と自己理解を高め、自発的な学習と行動を促進するプロセスです。青少年が現状を脱却して理想の未来に近づく手助けをしてくれます。



PACT のライフプラン・コーチングは従来のカウンセリングとは異なり、過去ではなく今と未来に重点を置いている、とロケットさんは説明します。このプログラムは 65% という高い成功率を収めています（ここで言う成功率とは、再犯しないプログラム修了者の率のこと）。

ライフコーチとの会話の中に未来を作り直すためのヒントと自信を見つけた、とスティーブソンさんは言います。「PACT プログラムは考え方を教えてくれるんです」とスティーブソンさん。「ただし、青写真は作ってくれますが、それを実行に移すのは自分です」

それ以降、スティーブソンさんは高校卒業同等資格を取得し、今はコールセンターで働いています。また、**PACT 人生・職業スキル地域社会奉仕プログラム**（英語サイト）で音楽への情熱を見出しました。これは音

楽や映画制作、料理、ガーデニング、起業といった実践的な活動を通して学びを得るといふプログラムです。



思いやりの心を伝える

今日では、トロント地域で 30 クラブ近くが PACT を支援しています。ロケットさんによると、その多くが年間 3,600 ドル以上の支援を行っているそうです。

ロータリークラブは、さらに踏み込んだ支援も行っています。PACT/ロータリー青少年メンタリングプログラムでは、ロータリー会員がプログラム参加者と直接連絡をとっています。

ソーシャルワーカーでウェリントン・ロータリークラブ会員のリズ・ボースマ＝ドノバンさんは、メンターとなる会員を各クラブと連携して探しています。

「PACT のことを知って、いくつかのプロジェクトでロケットさんに協力して以来、ロータリーはもっと有意義なつながりを持つことができるのでは、と思うようになった」とボースマ＝ドノバンさん。「青少年の帰属意識を高める、というのが私たちのやろうとしていることです。自分も地域社会の一員なのだと感じてもらいたいです。そのつながりを感じさせてあげられるのは、ロータリーをおいてほかにありません」

例えば、クラブ会員は PACT 参加者にボランティアの機会を教えてあげたり、運転免許を取る手伝いをしたり、仕事の面接を取りつける手助けをします。

「ロータリー会員は面倒見がよく、思いやりの心がある。そういった資質は若者の人生に変化を起こし、立て直しを図るのに大いに役立ちます」

225

PACT に参加した青少年の数（2006 年以來）

65%

再犯しないプログラム修了者の割合

\$3,600

参加者一人あたりの PACT コスト

\$120,000

受刑者一人あたりの平均年間収容費